

高等学校 令和6年度（1学年用）教科 国語 科目 現代の国語

單位數：            單位

組 ~

( 組： ) ( 組： ) ( 組： ) ( 組： ) ( 組： )

現代の国語 【第一学習社】 )

の目標：

重にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

里にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

案のもとで価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての目覚めをもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			語・ 聞	書	読					
1 学 期	「書き方の基礎レッスン」 【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるよう、文章の構成や展開を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 主語・述語の整った文を書く 接続表現の種類と働き 文章の構成 作文の発表  ・教材 教科書、スタディサブリ、プリント		○		【知識・技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 【思考・判断・表現】 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 表現の工夫を自ら思考し、課題に粘り強く取り組もうとしている。		○	○	8
	定期考査						○	○		1
	「ナマケモノになる」辻信一 【知識及び技能】 比喩、例示、言い換えなどの修辭や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 筆者の主張と一般論の使い分け 比喩表現の種類と効果 各自の考えの文章表現の仕方 常用漢字 語句の意味  ・教材 教科書、プリント  ・一人1台端末の活用		○		【知識・技能】 比喩、例示、言い換えなどの修辭や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 筆者の主張について自分なりに考察し、課題に粘り強く取り組もうとしている。		○	○	11
	定期考査							○	○	
2 学 期	「十六歳のとき」星野道夫 【知識及び技能】 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈するとともに自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 筆者の主張の読み取り 時系列に沿った筆者の経験整理 十六歳として何ができるか作文 常用漢字 語句の意味  ・教材 教科書、プリント  ・一人1台端末の活用		○		【知識・技能】 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈するとともに自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 筆者の体験から視野を広げ、課題に粘り強く取り組もうとしている。		○	○	10
	定期考査						○	○		1
	「地域の魅力を紹介する」 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いを使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 プレゼンテーションソフト 話し言葉と書き言葉の特徴 相手に伝わりやすい資料の提示 相手に伝わりやすい発表方法  ・教材 教科書、プリント  ・一人1台端末の活用		○		【知識・技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いを使うことができる。 【思考・判断・表現】 話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 聞き手を意識し分かりやすい発表になるよう、課題に粘り強く取り組もうとしている。		○	○	12
	定期考査							○	○	

[illegible]